

第86回 多言語化現象研究会

【事例報告】伝統芸能は 地域言語を支えられるのか？

前田達朗（大阪産業大学）

危機言語、継承言語の継承活動あるいは研究において歌や踊りなどの「芸能」の役割が強調されることは多い。伝えるメディアとして、「学習」した言語を実際に使う「場」として芸能が有用であることは間違いないが；①言語の危機がより深刻な地域の芸能は言語維持あるいは復興 revitalization にどれだけ関われるのか ②地域言語が衰退から消滅に向かう地域の芸能はどうなるのか、について琉球語地域のいくつかの事例を手がかりに考える。

キーワード：琉球諸語、language preservation、島唄、琉球列島（奄美群島）

在日朝鮮人と朝鮮語100年史① チ エ チ ユ 済州島方言編

ソンシルソン
宋実成（「題名のない講演会」弁士・猪飼野セツパラム文庫スタッフ）

報告者はここ数年、在日朝鮮人の100年史を「言語」の視点から考察するのを感じてきた。本報告では、^{チエチユ}済州島ルーツの在日朝鮮人による言語使用の諸相について報告する。

キーワード：1・2・3・4世の済州島方言使用、民族教育・組織・経済・文化・親睦活動における方言の使用と影響、人名の方言発音、日本地名の朝鮮語発音、文字言語への影響、日本語話者化過程での一史実、在日朝鮮人特有の日本語使用、在日朝鮮人の日本語と日本人の日本語は同質なのか？

日 時：2024年3月31日（土）14:00～17:00

場 所：関西学院大学梅田キャンパス1406番教室（アプローズタワー14階）

阪急「大阪梅田駅」茶屋町口から5分・JR「大阪駅」御堂筋口から10分

https://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/access/

参加無料（どなたでもご参加いただけます）

申込み：名前・所属と、懇親会参加有無を明記のうえ、webmaster@tagengoka.sakura.ne.jp宛に、送信してください。資料準備・懇親会会場の予約の必要があるので、お早めにお申込みください。

オンライン申込み：<https://kwansei-gakuin.zoom.us/meeting/register/tZAkc-CtgDIvGNzey4ppO6PJ7DyqueaGcYEX>

主 催：多言語化現象研究会 <http://www.tagengoka.sakura.ne.jp>

●多言語化現象研究会事務局● webmaster@tagengoka.sakura.ne.jp